

山口大学 埋蔵文化財資料館だより

No. 7

(1989年秋の号)

山口大学埋蔵文化財資料館

企画展 《さわってみる歴史》 第4回 『不思議の国のミュージアムV o 1. 2 — 学内発掘10年の歩み —』 展 開 催 中!

現在、埋蔵文化財資料館では、前回の企画展に引き続き、これまで10年間の間に山口大学構内で発見した遺物を中心に展示を行なっています。

今回は奈良時代から、江戸時代までの歴史にスポットをあて、当時の人々の生活の一面でも知っていただければと思っています。

場所 埋蔵文化財資料館 展示室
時間 8:30～17:00(土曜～12:30)
日曜・祝日休館

学外の方も誘って、どうぞおいでください



▼
▼
中 展 中
世 示 世
の の の
墓 一 食
角 器
▲



・第4回企画展 紹介	1	・次	
・第3回企画展 アンケート結果	2	・シリーズ 遺物からの「発見!!」～石鈿～	5
・接点7【環境学と考古学—プリントボール—】	3	・発掘調査速報～亀山構内 附属幼稚園	5
・山口県内の遺跡を訪ねて～江戸時代～	4	山口小学校敷地～	5
		・業務報告	6

第3回企画展

『不思議の国のミュージアム-学内発掘10年の歩み』展 アンケート結果

(第1部；旧石器時代～古墳時代、1989年6月～9月)

第3回企画展では、旧石器～古墳時代の生活復原をメインテーマとし、環境復原図や模型を製作し、それぞれの遺物が、どの様に使われたかできる限り再現しました。

【1. 所属部局】

【アンケート回答者 28名】

学生 14 (理4 人文・教育・農各3 経1)

教官 2 (人文1 教養1)

事務官 2 (人文・理1 事務局1)

その他 10 (地元の方、他大学の学生など)

【2. 企画展を知ったきっかけ】

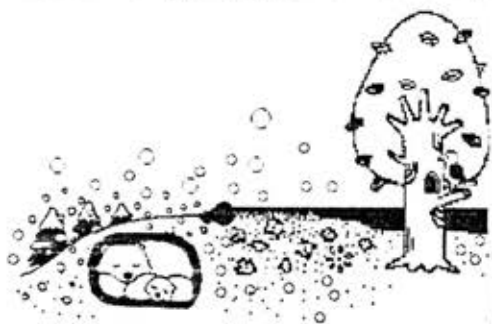
依然、たまたま通りかかった人が圧倒的に多く (12名)、埋蔵文化財資料館だよりで知った人 (6名) が次ぎます。ポスターは小さすぎたのか (3名) 効果はいま一步でした。

【3. 前回の第2回企画展への来館状況】

前回来られていない方が7割を占め、新たに知っていただけで幸いです。

【4. 一番印象に残ったもの】

壁一面の絵 (10名)、住居の復原 (4名)、壺棺 (3名) の順でした。



【5. 展示の良い点、悪い点】

良い点では、絵や模型により視角に訴えるというのが一番多く (12名)、次にさわれるところ (3名) があがっていました。悪い点では、建物構造の指摘を除き、説明不足でわからない (5名)、寂しい (2名) というのがあがり、より客観的に系統だてて説明を補い、それぞれの展示物の用途・時代の比較が行なえるようにしようと考えています。

【6. 今後の企画展に望むこと】

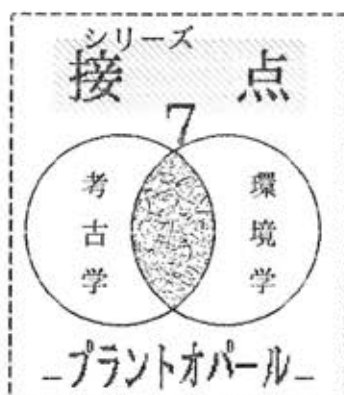
死後の世界をテーマに望む声が多かった (4名) のですが、第2回の『古代人の信じたもの』展と同様になり、即、次回にはいきません。しかし、1つのコーナーとしてなるべく考えてみたいと思います。

【7. 埋蔵文化財資料館への質問、要望】

努力が足りず、今回ももっとPRするようにとの意見が最多 (3名) で、次にもっと開かれた施設にするように (2名) との意見があがりました。

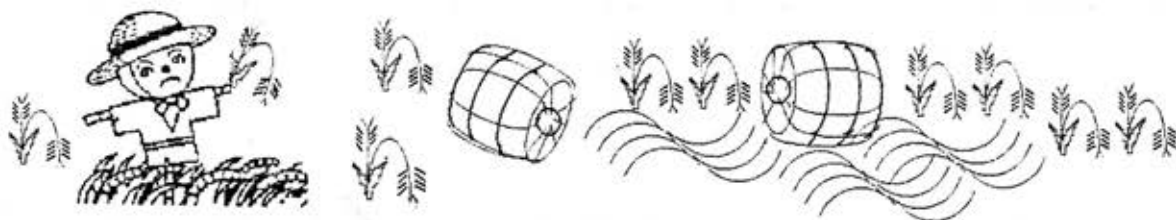
あなたは今朝、朝食に何を食べられましたか？。トーストにパン、ご飯に味噌汁、それとも寝坊して何も口にしていない諸氏もいらっしゃるかもしれません。

日本人は米を食べて2000有余年になりますが、では、日本列島で米作りが行なわれた証拠として、どんな事例が遺跡、遺物からあげられるのでしょうか。炭化した米や『資料館だより第1号-遺物からの発見-』でご紹介した土器の底についた籾の跡など、米そのもの、もしくはそれに近いものはもちろんです。また、水田農耕に用いられた開墾土掘り具（鋤・鋤など）、収穫用具（石沓丁・石鎌など）、脱穀用具（杵・臼など）などが状況証拠としてあげられるでしょう。しかし、実際に米を栽培した水田が発見されることが望ましいのは言うまでもありません。それを証拠だてる一つの方法にプラントオパール分析があります。



植物には珪酸（ガラス質）でできた特殊な細胞物質があり、植物珪酸体と呼ばれています。この物質は植物が枯死しても分解されず、長期間土壌中に化石＝プラントオパールとして残存しています。植物珪酸体は4種類の細胞で構成されており、このうちの機動細胞珪酸体はイネ科植物の属・種の違いによって、それぞれ固有の形・大きさをもっていることが知られているのです。

プラントオパール分析とは、土壌中に残存するこの植物珪酸体を定性・定量的に調べ、その元の植物種の同定や量を推定する方法です。例えば、長い年月を経て堆積した土壌のある層からイネの機動細胞珪酸体が一定量ピークをもって確認された場合、その層がある時期の水田であったことを示しています。考古学的な発掘調査の場合、事前に水田の存在を予測することは極めて困難で、試し掘りを行なう際、プラントオパール分析などによって水田の存在を想定していきます。水田には通常、大小の畦が設けられており、イネの機動細胞珪酸体が集中して発見された層を土壌の性質も含めて丹念に調べることによって、畦や水田を見つけることができるのです。このようにして佐賀県唐津市の菜畑遺跡や福岡市の板付遺跡などで水田が発見され、今や稲作の開始は縄文時代晩期に遡ることが明らかとなったのです。





山口県の
遺跡めぐり
- 江戸時代 -

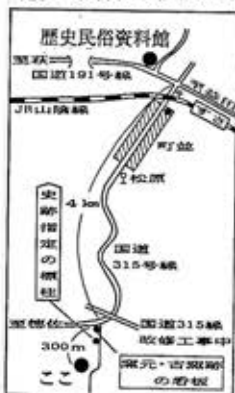
今回から山口県内の遺跡を紹介していこうと思います。

土地に残った人々の足跡を遺跡というならば、各地に数多くあります。観光地となっているところもありますが、ここでは、発掘調査により再確認された、埋もれつつあるところ、埋もれてしまったところを取り上げてみたいと思います。

《概観》 江戸時代には、農林水産業をはじめ窯業、製紙、醸造の鉱工業が発展し、それに伴い商業も発展します。今回は、工業で須佐唐津窯、宗教面で東隆寺一字一石経塚を代表で御紹介します。

《須佐唐津窯跡群-阿武郡須佐町唐津-》

須佐は、毛利藩家老益田氏の本拠である。この窯跡群は“唐津”の名が示すように、佐賀県唐津から技術が入り、同じ手法が多く用いられる。当初は青磁をはじめ高級品の生産をしていたが次第に日常雑器に移行する。窯は3基あり、登り窯である。出土遺物、伝世品、製作工具が町立歴史民俗資料館に展示してある。



《東隆寺一字一石経塚 (伝南嶺和尚墓)》

—宇部市厚東区棚井上—

鎌倉時代の開祖の墓と伝えられていた塚を調査したところ、実は、江戸初期の中興の僧を慕った人々が「妙法蓮華経」を平たい河原石に一字ずつ書き、地中に納めた一字一石経塚と判った。石の一部は、市立図書館付属資料館に展示してある。

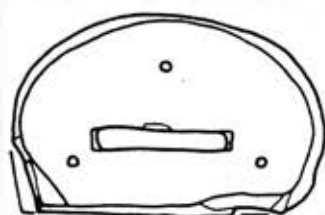


- ※ ※ ご自宅に遺跡に関する古い時代のものが眠っていませんか? ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
- ※ 当館では自宅で保管されていたり、近所で採集された土器などを資料化し、その
- ※ 蓄積、充実を図ってゆきたいと考えています。今使っていない古そうな器、何か
- ※ いわれがありそうなもの、ちょっと気になる—これはただの石・木あるいは鉄と
- ※ は思えない!—ものなどお持ちでしたら、ぜひ、当館まで御一報ください。 ※
- ※

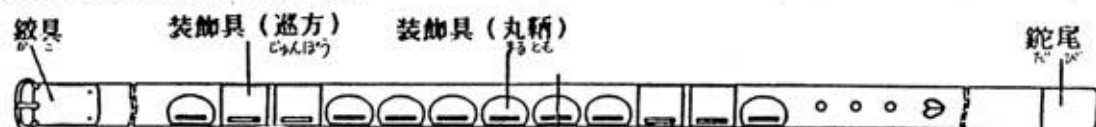
【資料紹介コーナー】 遺物からの「発見!!」

せっか 丸鞆 (まるとも) - 石製の帯飾り -

吉田構内の大学会館敷地で見つかった石銚(丸鞆)は、蒲鉾型で、幅4.1cm、長さ2.5cm、厚さ0.6cmです。素材は黒色の石です。これは、奈良時代から平安時代初めの貴族の朝服(儀式用制服)のベルトの飾りです。この黒色の飾りをつけた帯は烏油腰帯(くろつくりのこしおび)といい、6位から下の官人が用いていました。しかし、庶民には許されませんでした。帯は、長さ150~200cm、幅2~4cmです。両端の金具は銅製が多く、上級官僚は金具も飾りも金銀で作りました。



石銚(原寸大・表)



調査速報 - 教育学部附属幼稚園・山口小学校の調査 -

8月21日から10月22日まで山口市白石にある教育学部附属幼稚園・山口小学校で、下水管理設工事に先だって発掘調査を行ないました。同敷地では、昭和58年、当資料館の調査で古墳時代中期(今から約1500~1600年前頃)の竪穴住居跡や溝が見つかり、それまで知られていなかった新しい遺跡であることがわかりました。また、それにともなって多量の土器、鋤・鍬・寫形米製器などの木製品も出土し、その後の調査が期待されていました。

今回の調査でも新たな発見がいくつかありました。

まず、はじめて弥生時代の竪穴住居跡が2棟発掘されたことです。同敷地の南東にある亀山では弥生時代中期の終り頃(今から約1900年前頃)貯蔵用の竪穴が見つかっており、この遺跡との関連性が今後の問題となりそうです。

また、弥生時代の終り頃から古墳時代にかけて流れていた河川が3本確かめられました。当時の人々が水辺に集落を構えていたことがわかるとともに、河川に埋まっていた植物の葉・種子や木片を調べれば、人々が生活していた自然・生活環境を復原することが可能です。

このほかにも、弥生時代から室町時代の柱穴や溝も見つかっており、この地が長期間生活の場であったことを示しています。



業務報告 【1989年7月～10月】

★調査……事前調査1件、試掘調査1件、立会調査2件。

1. 小串 医学部MRI棟新営 (6月26日～7月6日) …遺物包含層確認 (旧石器～縄文, 中世)
2. 亀山 附属幼稚園・山口小学校汚水排水管理設(8月21日～10月22日) ◎5ページ参照
24箇所中11箇所、遺構・遺物を発見 (弥生～古墳, 中世)。一部計画変更
3. 吉田 吉田寮ボイラー棟地下貯油槽設備改修。(10月2・3日) …遺物包含層確認 (古墳)
4. 吉田 第2武道場排水溝設置 (10月9日) …顕著な知見なし。

★埋蔵文化財資料館運営委員会(11月10日)

★外部からの図書寄贈【7月～10月】 貸出しもしています。ご利用ください。

- | | |
|---|--|
| 【松任市教育委員会】…『一塚オオミナクチ遺跡』『横江入遺跡』『八田小淵遺跡』『竹松C遺跡』『中村ゴウデン遺跡』 | 【日本はきもの博物館】…『日本はきもの博物館だより 35』『はきもの世界史』 |
| 【富山県埋蔵文化財センター】…『埋文とやま 第27号』『同28号』 | 【広島大学】…『広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報Ⅶ』 |
| 【筑波大学歴史・人類学系】…『歴史人類 第17号』 | 【広島県埋蔵文化財調査センター】…『ひろしまの遺跡 第37号』 |
| 【東京大学】…『東京大学本郷構内の遺跡 理学部7号館地点』 | 【菊川町教育委員会(山口県)】…『下七見遺跡1』 |
| 【名古屋市博物館】…『名古屋市博物館だより 69』『同 70』 | 【山口県教育委員会】…『羽波遺跡 片山遺跡』『上岡原古墳群』 |
| 【豊田市郷土資料館】…『旧井上家西洋館移築復元工事報告書』 | 『清水遺跡』『岡の鼻遺跡』『下岡田遺跡』 |
| 【京都府埋蔵文化財調査研究センター】 | 『綾羅木郡台地遺跡』『土井ヶ浜遺跡』 |
| 『京都府埋蔵文化財情報 第32号』 | 【小野田市歴史民俗資料館】…『我家の愛蔵品展 大谷石郭屋』 |
| 『京都府埋蔵文化財情報 第33号』 | 【愛媛大学】…『愛媛大学埋蔵文化財調査室ニュース1』『同2』『同3』『同4』 |
| 【高槻市教育委員会】…『場上部遺跡他関連遺跡発掘調査概要』 | 【北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室】…『扇水町遺跡2』 |
| 【大阪府教育委員会】…『東北考古資料館だより No30 縄文の世界』 | 『上徳力遺跡1』『同2』『高津尾遺跡1』『同2』 |
| 【大阪文化財センター】…『大阪の埴輪展』 | 『徳力土地区画整理事業関係調査報告2』『貫川遺跡2』 |
| 【八尾市文化財調査研究会】…『小阪合遺跡』『八尾あれこれ』 | 『紀養・山ノ神遺跡』『香月遺跡-第3地点-』 |
| 『八尾南遺跡第2地点の旧石器』 | 『紅梅(A)遺跡2』『愛宕遺跡Ⅳ』『同遺跡』 |
| 【帝塚山考古学研究所】 | 『研究紀要 第3号』『埋蔵文化財調査室年報5』 |
| 『縄文早期を考える-押型文文化の諸問題-』 | 【大野城市教育委員会】…『大野城市の文化財 第21集』『出口遺跡』 |
| 【神戸市立博物館】…『博物館だより No28』『同 No29』 | 『牛頭ハセムシ産跡群Ⅱ』『牛頭井手産跡群』『仲尾遺跡Ⅲ』 |
| 【鳥取市教育委員会】…『若岩遺跡』 | 【宇佐佐土記の丘歴史民俗資料館】 |
| 【岡山大学】…『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第2号』 | 『宇佐佐土記の丘歴史民俗資料館年報 1988』 |
| 『岡山大学構内遺跡調査研究年報6』 | 【宇佐市教育委員会】…『駅館川流域遺跡群発掘調査報告1』『同Ⅱ』 |
| 【草戸千軒町遺跡調査研究所】 | 【別府大学付属博物館】…『別府大学付属博物館だより No33』 |
| 『草戸千軒町遺跡-第37～39次発掘調査概要-』 | 『別府大学付属博物館だより No34』 |
| 【御調町教育委員会(広島県)】…『本郷平庭寺』 | 『記録井関書拍帳-豊前国下毛郡西風形村庄屋記録-』 |

 * 本冊子は、各講座、教官に一部ずつ配布していますが、ぜひ学生個人でもお持ちい *
 * だけきたいと考えています。当館で配布しておりますので、ご希望の節は気軽にご来 *
 * 館下さい。また、各学部事務室にも置いてありますので、ご自由にお取り下さい。 *

<p style="text-align: center;">編 集 余 話</p> <p>本年度予定の大きな調査も終わり、これからは、年度末に向け、報告書作りで忙しくなります。寒くなり、どうしても出不精になりがちですが、どうぞ当館にもおいでください。</p>	<p style="text-align: center;">山口大学 埋蔵文化財資料館だより No.7...[1989年秋の号].....</p> <p>発行 11月30日 編集 山口大学埋蔵文化財資料館 〒753 山口市大字吉田1677-1 ☎代 (0839)22-6111 内線299</p> <p style="text-align: center;">利用案内(入館無料) 8:30～17:00(掘 12:30) 日・祝 休館</p> 
---	---